

大会宣言（案）

新潟中越地震からわずか3年で再び中越沖地震が発生しました。柏崎刈羽原発では真下に断層がみつき、原発の安全神話が崩壊しています。深刻な事態が次々と発覚するなか東京電力は“想定外”を繰り返していますが、市民からの指摘を無視して、安全基準を見直してこなかった当局の責任が問われています。被災された住民のみなさんへのお見舞いととも、東海・東南海地震の予想される愛知県としても災害対策の早急な拡充を求めるものです。

いま派遣・請負など非正規雇用が増大しワーキングプア、ネットカフェ難民が生まれています。定率減税が廃止され、サラリーマンも年金者も増税となりました。国保滞納者、生活保護が増加の一途をたどり、国民生活が破壊されてきています。しかしこれは自然災害ではありません。小泉内閣が推し進めてきた規制緩和・構造改革路線が引き起こした人災です。この小泉政治を引き継ぎ、さらに「靖国派」で固めた安倍自公政権は強行採決を繰り返し、次々と悪法を成立させてきましたが、国民の怒りで一気に支持を凋落させています。

組合員のみなさん

この一年間にパロマのパート解雇、トヨタ車体精工の偽装請負・労災隠し、ベトナム人研修生問題などの事件が発生し、愛労連として積極的に取り組んできました。また教育基本法改悪、国民投票法案、ホワイトカラーエグゼンプションなどの悪法に反対し、最賃の大幅引き上げをもとめるたたかいに全力をあげてきました。地域でも国保料の減免運動や年金問題、憲法と平和を守るたたかいのセンターとし大きな役割を發揮してきました。県知事選挙では県民のくらしを守る立場で奮闘し、県民からの信頼が大きく高まるなか、愛労連と地域労連が取り組む労働相談は倍増しています。

格差と貧困が広がっていますが、財界はいっそうの労働法制改悪と消費税引き上げを企んでいます。早ければ3年後にも改憲にむけた国民投票が行われます。いよいよ期限を区切ったたたかいが始まりました。愛労連は労働者の権利、国民・住民のくらしと平和をまもるために先頭にたって奮闘しましょう。

組合員のみなさん

愛労連はこの3年間、組織強化拡大を最重点課題にして取り組み、43組織があらたに結成され、6単産が純増となっています。いま非正規雇用の増大、格差拡大がすすむなかで、弱いものの立場にたった労働組合の拡大が求められています。「変えるな憲法なくそう格差と貧困」を掲げ、今年度から始まる組織強化拡大「第二次三カ年計画」に全力をあげ、7万人愛労連を早期に達成しましょう。

以上宣言する。

2007年7月29日
愛知県労働組合総連合
第37回定期大会